



写真-11 釧路川下流方向



写真-12 コッタロ踏切

まず、市街地の有名スポットである「弊(ぬさ)舞(まい)橋」(写真-14) 中心市街を貫いている釧路川に架かる釧路市の発展に貢献した橋、周辺は環境整備が成されており散歩に絶好である。次に幣舞橋から近い米町展望台へ、ここは釧路港を見渡すことが出来る。この辺は釧路市旧市街地でここから釧路市は発展していった。この近くの小高い丘に釧路崎灯台がある。灯台の中に入ることは出来なかった。ここで 10 時、次に「釧路市立博物館」へ。ここには釧路市発展の歴史、周辺の自然環境など多くの資料が展示されていた。また、周辺は公園化されており、一部にはストーンパークがあり北海道を形成している岩石が展示されている。釧路に来たときここは是非訪れたい場所だ。時は 12 時すぎとなり、和庄市場で昼食をとることにした。やはりここで有名なのは「勝手井」だ。自分の好きな海鮮ネタを丼飯の上に乗せて出来上がり。写真に撮ったがあまり豪華に見えない・・・しかし、しじみ汁と味わった勝手井(写真-17)は美味であった。時刻は 13 時半、国道 38 号、336 号経由約 190km、3 時間半予定で襟裳岬へ向かう。途中車も少なく、北海道の大地を味わいながら、特に襟裳岬を遠方から見た景色が幻想的で写真に納めた。釧路市内は晴れていたが、襟裳岬に近づくにつれ雲が低く立ちこめ、強風が車を揺らすのを感じていた。ほぼ予定通り 16 時半頃襟裳岬に到着。駐車場に車を止めて窓を少し開けると猛烈で冷たい風が吹き込んでくる。社内で防寒着を着て外に出たが寒い！じっと立っていることが出来ない。体感温度 0℃、とりあえず急いで「風の館」に入る。襟裳岬は千島列島から吹く東寄りの風と津軽海峡から吹く西寄りの風がぶつかり、常に 10m 毎秒を超える風が吹いていることで有名で、大きな窓ガラスを通して見た襟裳岬は雄大でどこか郷愁を誘うものであった。歌謡曲「襟裳岬」のせいかもしれない。写真-20 にも見られるように太平洋に沈みゆく襟裳岬は何か悠久の時間を



写真-13 さんまんま・つみれ汁



写真-14 幣舞橋周辺上流より



写真-15 釧路港遠景